

1.概要

- (1) 実施日 2013年10月12日(土)9:00~15:00 天候 晴れ
- (2) コース 阪神 深江駅→大日神社→元深江浜(札幌通り南詰め)→稲荷神社→蛙岩→風吹岩→保久良神社→大井川公園(保久良山登り口)解散
- (3) 見所 江戸時代、深江の浜から有馬温泉まで六甲山を横断して魚介類を運んだ「魚屋道」の行程の1/3である風吹岩まで、歴史探訪や自然観察しながら歩く。
- (4) 参加者 ビジター29名+会員25名=54名
- (5) 配布資料 観察コースMAP、魚屋道

2.準備・実施

- (1) 下見 9月3日(1班)、10月6日(自主研修会)
- (2) 説明担当 ビジター対応:1班(大橋)、2班(青木)、3班(石田)
会員対応:4班(太田)

3.観察記録

- (1) 大日神社(9:10)→稲荷神社(9:53)
 - ・大日神社で班分け後、「魚屋道」の歴史の説明を行う。
 - ・元深江浜(札幌通り南詰め)でS.25年代の深江浜から六甲山を望む写真を資料に札幌通りから魚屋道のコースを説明する。
 - ・稲荷神社 深江地区の守り神である稲荷神社の由来を説明する。



(2) 自然観察等

- ① 稲荷神社(10:03)→魚屋道山道の起点→蛙岩(11:05)
 - ・防災設備 高橋川土石流発生感知装置 カメラ・2か所のワイヤー切断設備
 - ・植物
センダン、ナキリスゲ、イヌビワ、アオキ、フサフジウツギ
ヤブタバコ、アベマキ、クヌギ、ボントクタデ、カゴノキ、ムクノキ、エノキ
アキニレ、ヤマハゼ、コクサギ(特徴:コクサギ型葉序、種の飛散)、



コクサギ型葉序



青い果実

② 蛙岩(11:05 から 1120)

- ・蛙岩のいわれと民話（山犬と魚屋）を話す。
- ・昆虫：ヨコヅナサシガメの幼虫観察



ヨコヅナサシガメの幼虫

③ 蛙岩（11:20）→風吹岩（12:15）

- ・植物
コアジサイ、ヤマナラシ、シロダモ、ナルコユリ、コウヤボウキ、ナツハゼ、ウラジロノキ
- ・蝶類 ヤママユガの繭

④ 風吹岩（12:15 から 13:00）・・・昼食

- ・風吹岩周辺の景観を説明する
- ・有馬温泉の歴史を説明する
- ・下山時イノシシと遭遇しないよう注意を行う



ヤママユガの繭

⑤ 風吹岩（13:00）→保久良神社（14:15）

- ・植物
イヌコウジュ、イナカギク、メナモミ、コメナモミ、ノダケ、アシボソ、リンボク、チヂミザサ、キツネノマゴ、ヨメナ、ノコンギク、イヌホオズキ、アキノキリンソウ



4.感想

- (1) 10月に入ったとはいえ、連日30℃を超える中、ビジター29名と多くの参加者が集まった。
「魚屋道を起点から歩く」チラシタイトルに興味を持ったからだと思う。
- (2) 事故防止のため、ストレッチを行った。・・・これからも継続した方がよい。
- (3) 観察できた植物も多く、かつ地名・寺院等の説明等も含めたことにより、参加者の感想もよかった。
- (4) 昼食、解散場所で各班の到着時間に大きく差が開かないように、休憩箇所での時間調整を行った。
- (5) 会HPへの掲載が無く多くのビジターから苦情があり、改めてHPの情報伝達力の大きさを感じた。

以上（報告 上原）